

令和 2 年度

事業決算報告書



自 令和 2 年 4 月 1 日
至 令和 3 年 3 月 31 日

公益財団法人生涯学習かめおか財団

目 次

事 業 報 告 書

事 業 の 概 要	1
役員等に関する事項	3
会議及び議決事項	5
事 業 実 施 報 告	7
生涯学習事業一覧	11
施設の利用状況	17

決 算 書

貸 借 対 照 表	18
正味財産増減計算書	19
正味財産増減計算書内訳表	22
財務諸表に対する注記	24
附 属 明 細 書	26
財 產 目 錄	27

事業の概要

昭和63年3月の西日本で初めての「生涯学習都市」宣言により、平成2年3月に、生涯学習を民間活力で推進する組織として誕生した当財団は、平成24年度から「公益財団法人」として新たなスタートをし、公益法人として運営体制や組織の一層の整備、充実を図り、令和3年3月に設立31周年を迎えることができました。

この31年間、亀岡市・教育委員会・生涯学習かめおか財団が三位一体となり生涯学習を積極的に推し進めてきました。

平成10年9月に生涯学習の中核施設となる「ガレリアかめおか」が竣工し、施設の維持管理を当財団が担い、施設の管理運営と事業を一体化した生涯学習の推進に取り組んできました。

平成18年度からはガレリアかめおかの指定管理者に指定され、令和2年度は指定管理4期目（平成29年度～令和2年度）の最終年度として、これまでの経験と実績を最大限に活かし、利用者の要望や意見にすみやかに対応し、利用者の安全・安心・快適の確保に努めながら、管理運営を行ってきました。

具体的な生涯学習推進啓発事業については、講演会事業、文化・芸術振興事業、講習会事業、啓発・支援事業、国際交流事業、調査研究事業など、地域住民一人ひとりの生涯学習活動のサポート役として、“学びのきっかけ”となるプログラムを展開、実施してきましたが、令和2年度は、前年度末から拡がった新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、多くの事業の中止を余儀なくされる中での1年となりました。

そうしたなかでも、三大シンボル講座（コレージュ・ド・カメオカ、丹波学トーグ、亀岡生涯学習市民大学）を中心に開催し、参加者数を制限しながらではありましたが、それぞれの事業において多彩な講師の講義により、“生きる喜びを感じる場”、“次世代へ文化が継承される場”、“私たちの住む亀岡について理解を深める場”となりました。また、文化・芸術の振興と向上、生涯学習の啓発と支援なども新型コロナウイルス感染拡大防止への配慮を行いながら、亀岡国際交流協会（当財団所管）や京都先端科学大学、市内の関係団体とも連携しながら様々な事業に取り組みました。

生涯学習施設「ガレリアかめおか」の管理運営につきましては、指定管理者として、利用者が安全・安心、快適に利用していただけるよう維持管理、修繕業務を行うとともに、効果的、効率的な管理を図りました。また、今年度は新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、亀岡市との連携を密にしながら、国、府、市のガイドラインに基づいた、ガレリアかめおか独自のガイドラインを作成し、迅速な事務執行や利用者への丁寧な説明、親切な応対など、市民サービスの向上に努めながらも、感染予防を重視した運営をして参りました。

年間を通しては、緊急事態宣言に基づいた令和2年4月11日から5月31日までの利用停止及び令和3年1月18日から3月14日までの開館時間の短縮、新型コロナウイルス感染症予防を目的とした利用者によるキャンセルなどが影響し、前年比で利用件数は約3割減少、利用料収入は約4割減少しました。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、多くの人の集まる機会、対面で行う講座など、制限されることが多く非常に難しい一年となりました。

令和3年度においても、引き続き感染症拡大防止の対策を取りながらの事業の運営となることが想定されますが、市民の自発的な生涯学習につながる機会の提供、地元・地域で活動しているサークル等の発表機会の創出、多様な団体との連携による協働事業の実施など、新たな事業にも積極的に取り組みます。

役員等に関する事項

令和2年度における役員、評議員、職員の数は次のとおりです。

(1) 名誉顧問、顧問

役名	氏名	職名
名誉顧問	千 玄室	茶道裏千家大宗匠
名誉顧問	田 中 英夫	京都府議会議員、元亀岡市長
名誉顧問	栗 山 正 隆	前亀岡市長
名誉顧問	桂 川 孝 裕	亀岡市長
顧問	大 槻 秩 司	医療法人亀岡病院会長
顧問	楠 善 夫	宗教法人大本
顧問	黒 川 正 夫	株式会社カスタム相談役

(2) 理事

役名	氏名	職名
理事長	井 上 満 郎	京都産業大学名誉教授
副理事長	前 田 逸 郎	亀岡商工会議所顧問
常務理事	山 本 善 也	公益財団法人生涯学習かめおか財団企画総務部長
理事	井 口 雅 子	ジェンダーフリーのまちづくり会議代表
理事	石 野 茂	亀岡市副市長
理事	川 勝 啓 史	亀岡商工会議所会頭
理事	木 戸 邦 考	一般社団法人亀岡市観光協会副会長
理事	坂 本 信 雄	特定非営利活動法人みんなのネットワーク理事長 (かめおか市民活動推進センター登録団体代表)
理事	關 本 卓 男	公益財団法人亀岡市スポーツ協会会长
理事	高瀬 尚文	京都先端科学大学研究・連携支援センター長
理事	山 本 隆 志	亀岡市自治会連合会副会長
理事	松 田 一	元宗教法人大本亀岡宣教センター長

(3) 監事

役名	氏名	職名
監事	垣岡治	京都北都信用金庫亀岡支店支店長
監事	平田利男	税理士法人平田会計事務所代表社員

(4) 評議員

役名	氏名	職名
評議員	浅田信仁	一般社団法人亀岡青年会議所理事長
評議員	荒木真	亀岡ロータリークラブ会長
評議員	鎌田雄一郎	亀岡市医師会会長
評議員	神先宏彰	亀岡市教育委員会教育長
評議員	木村好孝	社会福祉法人亀岡市社会福祉協議会会长
評議員	工藤和之	亀岡市社会教育委員会議議長
評議員	黒田賢次	亀岡市PTA連絡協議会会长
評議員	渋谷幸雄	亀岡経済同友会代表幹事
評議員	田中秀門	亀岡市生涯学習部長
評議員	林昭	亀岡市老人クラブ連合会会长
評議員	林惠子	亀岡文化交流協会相談役
評議員	古林峰夫	公益財団法人亀岡市都市緑花協会理事長
評議員	益田也寸子	亀岡ボランティア連絡協議会幹事
評議員	森照子	国際ソロプロチミスト亀岡会長
評議員	渡邊栄美子	亀岡商工会議所女性会会长

令和3年3月31日現在

(5) 職員配置状況

常務理事	事務局長	部長	課長	主幹	主任
1	1	1 (兼)	3	6	2
主査		嘱託	臨時職員	計	
1		2	8	26	

会議及び議決事項

(1) 監査の実施

令和3年5月7日 令和2年度決算監査を実施

(2) 会議

①理事会議決事項

理事会開催	議案番号	件 名	議決年月日
第1回 (書面決議)	第1号	公益財団法人生涯学習かめおか財團令和元年度事業報告及び収支決算について	令和2年5月13日
	第2号	定時評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等の件	
第2回 令和2年8月20日	第1号	公益財団法人生涯学習かめおか財團運営方針について	令和2年8月20日
	第2号	理事長、副理事長及び常務理事の職務の執行状況について	
	第3号	令和2年度第2回評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等の件	
第3回 令和3年3月11日	専決処分 報告 報告第1号	公益財団法人生涯学習かめおか財團職員給与規程の一部改正について	令和3年3月11日
	専決処分 報告 報告第2号	令和2年度事業報告について	
	第1号	公益財団法人生涯学習かめおか財團令和3年度事業計画及び収支予算について	
	第2号	公益財団法人生涯学習かめおか財團諸規定の一部改正について	
	第3号	公益財団法人生涯学習かめおか財團職員出向規程の制定について	
	第4号	令和2年度公益財団法人生涯学習かめおか財團予算の補正について	
	第5号	令和2年度第3回評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等の件	

②評議員会議決事項

評議員会開催	議案番号	件 名	議決年月日
第1回 (書面決議)	第1号	公益財団法人生涯学習かめおか財團令和元年度事業報告及び収支決算について	令和2年5月27日
	第2号	公益財団法人生涯学習かめおか財團理事の選任について	
	第3号	公益財団法人生涯学習かめおか財團評議員の選任について	
第2回 令和2年8月31日	第1号	公益財団法人生涯学習かめおか財團理事の選任について	令和2年8月31日
	報告 第1号	公益財団法人生涯学習かめおか財團の運営方針について	
第3回 (書面決議)	第1号	公益財団法人生涯学習かめおか財團理事の選任について	令和3年3月31日
	第2号	公益財団法人生涯学習かめおか財團役員及び評議員の報酬及び費用弁償に関する規程の一部改正について	

事業実施報告

1 生涯学習推進普及啓発事業（公益1）

（1）講演会事業

三大シンボル講座（コレージュ・ド・カメオカ、丹波学トーク、亀岡生涯学習市民大学）をはじめ、それぞれの講演会の理念に沿ったテーマ、講師を選定し、生涯学習の機会を提供しました。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、講座の延期、中止を余儀なくされ、例年と同様の開催とはなりませんでした。

コレージュ・ド・カメオカは、第83回に前年度の生涯学習大賞「石田梅岩賞」受賞記念講演として第8代ユネスコ事務局長の松浦晃一郎さんを迎え、「生涯学習」をテーマに、生涯学習という概念が生まれた経緯からその発展、また生涯学習に取り組むことが人にとって非常に重要であることについて語られ、当財団の取り組む事業の必要性を改めて考え直す機会にもなりました。第84回は、京都文化創生機構理事長の富士谷あつ子さんに、生涯学習ゆう・あい賞「千登三子賞」受賞記念としてご講演いただく予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急事態宣言発令により延期といたしました。

丹波学トークは、「亀岡“道”ものがたり」をテーマに、研究者等によるトークとフィールドワークを交え、江戸時代の街道や近代の鉄道を通して、亀岡の立地や他地域とのつながり等について学ぶ予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大により、4月に中止を決定しました。中止に伴い、ホームページ及びFacebookを活用し、前年度「お城のあるまちに暮らす」をテーマに開催した講座の振り返りなどをテキストと写真で8回に分け発信しました。

亀岡生涯学習市民大学は、「広げよう 学びの心～共に感じ 輝く未来へ～」を年間テーマに、市民の運営委員会による講座として、多彩なジャンルの講師を迎えて開催しました。新型コロナウイルス感染症拡大により、全5講座に縮小し、例年の6月開講を10月開講としました。また、事前申込による定員制、時間短縮など、感染対策を講じての開催とし、2月の第5講座は感染拡大による緊急事態宣言発令により中止としました。

その他、例年開催している“輝き”フォーラム、テーマ講演会、京都先端科学大学との連携事業は、コロナ禍を考慮し、実施を見送りました。

(2) 文化・芸術振興事業

実施運営委員会を中心に、生涯学習の成果発表と、芸術文化振興や交流の機会として亀岡市美術展、亀岡市民文化祭を開催していますが、令和2年度は例年とは違う運営となりました。

亀岡市美術展は、例年規模の出展数により開催することができ、市民の文化芸術の向上を図ることができました。しかしながら、表彰式と受賞者の交流会は中止、来場者には検温、手指の消毒、名前等の確認を行うなど、感染防止対策の講じての開催となりました。

亀岡市民文化祭は、11月の実施に向け運営委員会等を実施していましたが、舞台演目での飛沫感染や響ホールの換気が困難であるなど、感染防止対策が十分に図れないことから、6月に中止を決定しました。11月の開催予定日には、作品展示と共に次年度に向けた文化祭のPRをロビーギャラリーで行いました。

12月には、京都フィルハーモニー室内合奏団との共催により、文化庁戦略的芸術文化創造推進事業「文化芸術収益力強化事業」、次のにない手を育成する子ども向けコンテンツ制作事業として、子ども向けのクラシックコンサートを開催しました。小さな子どもたちが本格的なクラシック演奏を聴き、音楽に興味を持てるきっかけとなることや、子育てをされている親にとっても、コロナ禍において気持ちをリフレッシュできる有意義な時間を提供できました。

7月には隣接する京都市西京区との交流事業として七夕交流コンサート、12月には財団設立30周年記念事業としてかめおかコーラスフェスティバルの開催を予定していましたが、合唱による飛沫感染リスクなどを考慮し中止しました。

(3) 講習会事業

講習会事業においては、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、不特定多数の参加者の密を避けることや、対面による指導が困難であることなどから、令和2年度は例年のような講座の開催とはなりませんでした。

こうしたなかでも、季節の風景写真を募集しての写真展の開催や、継続的に実施している中国語講座とドイツ語講座、オカリナ演奏講座は感染防止対策を講じて開催し、語学講座の受講生には、亀岡国際交流協会の事業への参加を積極的に促し、教室で学ぶだけでなく、実際に使う機会の提供にも努めました。

(4) 啓発、支援事業

市民の自主的な生涯学習活動を支援するため、「生涯学習事業助成」により活

動経費の一部を助成するとともに、「ガレリアかめおか人材バンク」を中心とした講師、文化・芸術活動者の情報を提供するなど多面的な支援を行いました。

また、市民活動の活性化を図るため、市民活動の中間支援機関である「かめおか市民活動推進センター」の業務をサポートしました。

財団情報誌「Manabian」を3月に発行、ガレリアニュースを毎月1回発行、各事業のアーカイブの作成、ホームページやFacebookを活用し、隨時に財団の事業展開、生涯学習の機会提供に関する広報に努めました。

(5) 国際交流事業

亀岡国際交流協会の事務局を財団が所管し、同協会と連携しながら様々な事業に取り組みました。

在住外国人の生活支援を目的とする外国人のための日本語教室や、市民と留学生・外国人住民との交流事業、多様な文化を理解するための国際理解学習等を実施し、生涯学習につながる多文化共生の地域づくりを推進しました。

また、姉妹都市・友好交流都市の方からの寄稿、亀岡在住の外国人の紹介など亀岡の国際交流に関する情報誌として、「亀岡国際タイムズ」を年4回発行しました。

これらには協会会員や多くの市民ボランティア、京都先端科学大学を中心とする学生の皆様の協力により、大きな成果をあげました。

(6) 調査研究事業

「多文化共生社会に資する人材の登録及び活用について」をテーマに、亀岡市の在住外国人が増加していることに伴う、地域に生じている課題について考察し、その原因として考えられるコミュニケーション不足の解消や、多文化共生社会実現に向けて、11月に開設した「多文化共生センター」の役割や、亀岡国際交流協会の既存事業における人材活用の手法や制度化が課題解決につながることを検証した。

2 市民の生涯学習活動に対する支援等事業（公益 2）

生涯学習施設「ガレリアかめおか」において、地域住民の生涯学習活動における成果発表や住民交流、協働の場の提供を行いました。令和 2 年度は、施設運営の改善を図るため、次のことを実施しました。

- ① 新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、サーマルカメラ、消毒液を館内出入口に設置しました。また、アクリル板飛沫防止パネルも購入し、感染拡大防止に努めました。
- ② 利用者に向けて各施設の利用方法や設備に関する情報提供、各種事業の広報活動等を最新の状態にすることを目的にホームページを更新しました。
新たに Google ストリートビューを導入することにより、各施設内を 360 度のパノラマ映像で閲覧することが可能になりました。これにより遠方からの利用者が、インターネットを通して利用目的や催事規模に応じた施設を体感でき、イメージできるようにしました。
- ③ 喫煙所について、設置場所を見直したうえで 1 か所に集約し、来館者の受動喫煙を防止するよう努めました。

3 生涯学習施設における公益目的外貸与等事業（収益 1）

生涯学習施設「ガレリアかめおか」において、道の駅関係の物販を行いました。

※各事業の実績数値は別紙によりとりまとめています。

(別紙)

(1) 講演会事業

【コレージュ・ド・カメオカ】

事業名	実施日	内容	参加者数
第83回 コレージュ・ド・カメオカ	9/6 (日)	第19回生涯学習大賞 『石田梅岩賞』受賞記念講演 「生涯学習はなぜ人にとって重要なのか」 講師:松浦晃一郎さん (第8代ユネスコ事務局長)	100名
第84回 コレージュ・ド・カメオカ	2/21 (日)	第20回生涯学習ゆう・あい賞 『千登三子賞』受賞記念講演 「生涯学習支援50年の歩みから」 講師:富士谷あつ子さん (評論家・京都文化創生機構理事長) ※新型コロナウイルス感染拡大を防ぐため延期	延期

【丹波学トーク】「道」シリーズ

事業名	実施日	内容	参加者数
丹波学トーク 第96回	5/16 (土)	亀山宿事件帖～千客万来、山陰街道～	中止
丹波学トーク 第97回	7/11 (土)	汽車が来た！～京都鉄道、22マイルの革命～	中止
丹波学トーク 第98回	9月 or 10月	まちあるきを100倍楽しむ方法(仮)	中止

上記講座を3回シリーズで計画していましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。

【プレイバック丹波学トーク2019】

上記講座の中止に伴い、ホームページ及びFacebookを活用し、前年度の「お城のあるまちに暮らす。」をテーマに開催した丹波学トークの内容の一部を、テキストと写真で発信しました。

Vol.1 今日から楽しむ、お城の見方・歩き方その①「役割を楽しむ」 (5月25日更新)

Vol.2 今日から楽しむ、お城の見方・歩き方その②「変遷を楽しむ」 (6月1日更新)

Vol.3 今日から楽しむ、お城の見方・歩き方その③「石垣を楽しむ」 (6月8日更新)

Vol.4 今日から楽しむ、お城の見方・歩き方その④「丸岡城見学レポート」 (6月15日更新)

Vol.5 お城へ行こう～丹波亀山城址～その① (6月22日更新)

Vol.6 お城へ行こう～丹波亀山城址～その② (6月29日更新予定)

Vol.7 お城が教えてくれること (7/6更新)

Vol.8 結びとお礼に代えて (7/13更新)

【亀岡生涯学習市民大学】

事 業 名	実 施 日	内 容	参加者数
第1講座	10／31 (土)	「月の科学の最前線～月からわかる地球の歴史～」 講師:寺田健太郎さん(大阪大学大学院理学研究科教授)	130名
第2講座	11／16 (土)	「『新古今和歌集』の森を歩く一まぼろしの最終回ー」 講師:小林一彦さん(京都産業大学文化学部教授) 〔古典の日にちなむ講座〕	96名
第3講座	12／5 (土)	「アリはなぜ一列に歩くか」 講師:山岡亮平さん(京都工芸繊維大学名誉教授)	119名
第4講座	1／16 (土)	「亀岡盆地に「城下町」がやってきた！ ～丹波亀山城・城下町の成立と展開～」 講師:梅林秀行さん(京都高低差崖会崖長)	154名
第5講座	2／6 (土)	「新型コロナ渦中～思ったこと、考えたこと～」 講師:黒川孝宏さん(亀岡生涯学習市民大学学長) <u>※新型コロナウイルス感染拡大を防ぐため中止</u>	中止

(2)文化・芸術振興事業

事 業 名	実 施 日	内 容	参加者数
亀岡市・京都市西京区都市間交流事業 七夕交流コンサート2020	7／5(日)	亀岡市のオカリナグループと京都市西京区のシルフィード合唱団・室内楽団による交流コンサート。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、4月に中止を決定。	中止
財団設立30周年記念事業 かめおかコーラスフェスティバル	12／20 (日)	記念事業として市内で活動するコーラス・合唱グループによるコンサートの開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、7月に中止を決定。	中止
京フィル「はじめてのクラシックコンサート」 〔共催事業〕	12／27 (日)	文化庁次のにない手を育成する子ども向けのコンテンツ事業として京都フィルハーモニー室内合奏団との共催により開催。	177名

*実施運営委員会

事業名	内容	鑑賞人数
第37回亀岡市美術展	市民の文化芸術の振興を図り、豊かな人間性の形成と技術の向上など生涯学習の推進を目的として実施。 開催期間 9／12(土)～22(火・祝) 出 展 110名・120点	2, 203名 (11日間延べ)
第45回亀岡市民文化祭	市民の多様な芸術・文化活動など生涯学習の発表の場として実施に向けて運営委員会等を進めていましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、6月に中止を決定。 開催予定日 11／7(土)・8(日)	中止

(3)講習会事業

事業名	実施日	内容	参加者数
オープンガーデンかめおか 2020 *共催事業	5／23(土) 24(日)	市民が自宅などに花飾りを行い訪れる人もてなし美しい街づくりを目指す、オープンガーデン事業の開催を計画していましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、4月に中止を決定。	中止
ガレリア“ミニ”縁日	8／10 (月・祝)	コロナ禍において、ソーシャルディスタンスを取って楽しめる絵具などを使った子ども向けワークショップを開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、7月に中止を決定。	中止
ガレリアかめおか 秋の写真展	第1期 11／10(火) ～25(水) 第2期 11／30(月) ～12／13(日)	第1期「亀岡秋景」 優悠写真同好会が撮影した亀岡の秋の写真を展示。 第2期「わたしの亀岡秋景2020」 秋に亀岡で撮影された写真を募集し、展示。優悠写真同好会による講評を書面で行った。	第2期出展 10名
中国語講座	6月～3月 (土曜日開講)	中国語の学習を通じて文化の学習(年間35回) <u>*4月、5月は新型コロナウイルス感染拡大を防ぐため休講。2月は自宅にてオンラインにより開催。</u>	1クラス 5名
ドイツ語講座	6月～3月 (土曜日開講)	ドイツ語の学習を通じて文化の学習(年間36回) <u>*4月、5月は新型コロナウイルス感染拡大を防ぐため休講。2月は自宅にてオンラインにより開催。</u>	1クラス 7名

【参加型ワークショップ(館内装飾)】

事業名	実施日	内容	参加者数
七夕飾り	展示期間 6／28（日）～ 7／10（金）	ロビーギャラリーに設置した笹飾りに、来館者が自由に短冊を飾り付けられるよう、記入所とペンを設けました。新型コロナウイルス感染対策を行った上で実施。	△

【オカリナプロジェクト】

事業名	実施回数	内容	参加者数
オカリナ演奏講座	6月～12月、3月 月2回	演奏講座 4コース <u>*4月、5月、1月、2月は新型コロナウイルス感染拡大を防ぐため休講</u>	30名
市民オカリナ演奏団		七夕交流コンサートの出演に向けた練習会 <u>*新型コロナウイルス感染拡大を防ぐため中止</u>	中止

(4)啓発・支援事業 【共催・後援事業】

事業名	実施日	内容	参加者・件数・登録団体数
各種生涯学習事業後援	年間を通して実施	市内の団体等が実施する生涯学習事業に後援を行った。	5件 (協賛・協力を除く)
かめおか市民活動推進センター	当センターが中間支援機能を発揮できるよう、運営のサポートをしている。		登録団体 95団体

【生涯学習助成事業】

申込団体名	事業名	助成金額(円)
琴伝流大正琴「琴問会」	琴伝流大正琴「琴問会」25周年コンサート感謝の集い	100,000
あまぶれ史談会	あまぶれ史談会	50,000
かめおかまちの元気づくりプロジェクト	かめおかまちの元気づくりプロジェクト設立10周年記念冊子の制作	100,000
亀岡漢字塾	亀岡漢字塾(第19期、第20期)	37,000

申込団体名	事業名	助成金額(円)
非核平和講演会実行委員会	非核平和都市宣言10周年記念講演会	90,000
亀岡市文化資料館友の会	亀岡市文化資料館友の会古文書勉強会『学習の記録』全4集の作成・製本と公開	31,000
京都愛宕研究会	本能寺の変シンポジウム	100,000
地域資源を掘り起こす会	「つなぐ終戦75年」から	100,000
合計		8件 608,000

公益財団生涯学習事業助成要項に基づく審査委員により審査いただき、合計申請10件のうち10件について助成を決定。その後、2件が取り下げとなり、8件に助成金を交付しました。

(5)国際交流事業(亀岡国際交流協会と連携して開催)

事業名	実施日	内 容	参加者数
国際理解学習 グローバルカフェ	10/17 (土)	市民と在住外国人の交流の場としてグローバルカフェを開催しました。 ゲストにとっては、市民と交流し、自分の国を紹介できる良い機会としました。	23名
亀岡市・ジャンデーラ市姉妹都市 盟約35周年記念事業 ワールドフェスタ2020	10/25 (日)	姉妹都市再発見Vol. 1 ブラジルを知ろう～ブラジル大使を迎えて～ 姉妹都市であるブラジルについて、駐日ブラジル大使を招聘し、歴史や文化について理解を深める機会として開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。	中止
ワールドフェスタ2021	2/7 (日)	姉妹都市・友好姉妹都市再発見～国境を越えて～ 亀岡市の姉妹都市・友好交流都市の紹介やコロナ禍での外国の教育事情について学ぶことを目的に開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため延期。	延期
日本語教室	日曜日 年間20回 開催	亀岡市内や近隣地域に住む外国人等を対象に日常生活に必要な日本語を習得していただくことを目的に、支援ボランティアにより継続して開催。 近年では、企業の技能実習生の増加に伴い、学習者が増加。 <u>*4~5月及び1~2月は新型コロナウイルス感染拡大を防ぐため休講</u>	ボランティア 20名 学習者 42名

事 業 名	実 施 日	内 容	参加者数
外国につながりをもつ子どもの学びを支える研修会 (共催事業)	1／30 (土)	外国につながりをもつ子どもの学習支援を図るとともに、地域の学習支援教室を支援することで活動の活性化を促すことを目的に研修会を開催。新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言発令によりオンラインZOOMでの開催。	47名

(6)調査・研究事業

テー マ	調 査 研 究 の 目 的 ・ 方 法
多文化共生社会に資する人材の登録及び活用について	亀岡市の在住外国人が増加していることに伴い、地域に生じている課題として「学校現場」「日常生活」「緊急時の対応」「日本語学習の場」の4つを取り上げ、その課題解決について考察した。大きな原因として考えられるコミュニケーション不足の解消や、多文化共生社会実現に向けて11月に開設した「多文化共生センター」の役割は重要であり、その業務に地域人材を活用することが有効であることや、亀岡国際交流協会の既存事業における人材活用の手法や制度化が課題解決につながることを検証した。

(日本漢字能力検定)

事 業 名	実 施 日	内 容	申込数	受検数
日本漢字能力検定	10／31(土)	ガレリアかめおかで年2回実施。市民対象に2級から10級までの10段階。	74名	72名
	1／30(土)		67名	中止

施設の利用状況（令和2年度）

(ガレリアかめおか)

月	4	5	6	7	8	9	
利用件数 (件数)	103	0	424	521	476	518	
利用人数 (人)	18,746	18,282	24,623	28,522	31,569	32,181	
月	10	11	12	1	2	3	計
利用件数 (件数)	579	587	525	422	469	581	5,205
利用人数 (人)	34,472	35,989	31,116	25,660	28,862	32,901	342,923

参考： 平成30年度 利用件数合計 7,655件、利用人数合計 522,032人

令和元年度 利用件数合計 7,536件、利用人数合計 519,515人